（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	女性社員、障碍者をはじめ、全社員に平等な労働環境を整備している	5.1 5.2 5.5 / 8.5 8.7 8.8 / 10.2 10.3 / 16.1 16.2 16.7
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	コンプライアンス基本指針･行動指針の中に盛り込み体制を制bにしている	5.1 5.2 5.5 / 8.5 8.8 / 16.1
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	36協定の遵守、残業削減に向けた取組(月40H超の場合の社長承認、定時退社日) 労働局に一般事業主行動計画を策定し、実施している	8.5 8.8
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	グループ行動指針およびコンプライアンス行動規範において、左記項目について明文化し、社員に周知している。	4.4 / 8.7 8.8 / 10.2 10.3
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	安全衛生計画の作成と実施。安全衛生委員会の開催。職場パトロールの実施。	3 / 8
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	「心の健康づくり計画」を策定し、実施している	3
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	グループ行動指針およびコンプライアンス行動規範において、左記項目について明文化し、社員に周知している。	5.1 5.5 / 8.5 / 10.2 10.3
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	毎年度、全社および課別の教育訓練計画を策定して実施。個人別に熟練度評価表あり。	4 / 5.5 / 8 9
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	自社賃金規定に順守し対応している	5.5 / 8.5 / 10.2 10.3
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	就業前のラジオ体操の実施	3 / 8
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	総務課での管理。分別･回収の徹底	11.6 / 12 / 14.1
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	長野県へ毎年度、排出抑制計画と報告書を提出	7.3 / 13
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	長野県へ毎年度、排出抑制計画と報告書を提出	7.2 7.3 / 12.4 / 13.3
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	自社で取り扱う製品の環境負荷物質の把握と取り扱い方法の順守	3.9 / 6.3 / 11.6 / 12.4
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	ばい煙、汚染物質などによる土壌汚染などが起こらないよう、対策を行ってる	6.6 / 15
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃材のリサイクル、不良製品の活用方法の展開により、再利用の推進を行っている	13 / 14.1
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】クーリングタワー（冷却水循環装置）を利用しエネルギーハーベスティングを検討	6.4 6.6

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目
18	環境	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001 認証取得済み	3.9 / 6 / 7 / 12 / 13.3 / 14 / 15
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】環境改善に対する取り組みを行い、効果の見える化をし開示する	12.6
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】工場の屋根に太陽光発電システムの設置検討	7.2 / 13
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	自社で取り扱う木材製品のFSCコードのあるものを優先的に採用する	12.2 / 13 / 14 / 15
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	社員･役員行動規範　コンプライアンス基本方針での周知と社員全員へのクレドカードの配布	16 16.5
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	社員･役員行動規範　コンプライアンス基本方針での周知と社員全員へのクレドカードの配布	16
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	自社技術開発部門にて、知財管理を行っている	8.2 8.3 / 9
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	総務課にて適正に管理を行っている	16
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	フェアトレードのものを積極的に取り扱うようにしている	16
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】SDGsについてステークホルダーとの意識の共有を行い、互いのパートナーシップを強化し持続可能な社会の創造を実現させる活動を検討実施する	5 / 8 / 10 / 12 / 13 / 14 / 15 / 16 / 17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	ISO9001 JIS Q 9100 IATF16949 認証取得済み	3.9 / 12.4
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001 JIS Q 9100 IATF16949 認証取得済み	9
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	製品製作に関わるものに対し、環境負荷物質を確認し、環境負荷物質を使用しないようにしている	6 / 12 / 13 / 14 / 15
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	生産活動で発生する廃棄物の量を削減し、可能な限りリサイクルと再利用、再活用を実施する仕組みを構築する	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組（県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	工業団地組合との活動連携と親睦を図り、情報交換を行っている	4 / 9 / 11 / 12 / 14 / 15 / 17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	工業団地組合との活動、地域の清掃活動など積極的に参加している	4 / 11 / 14 / 15 / 17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	社内イベントの際の食材などは長野県産、地域で収穫されたものを調達するようにしている	8 / 9 / 11 / 12 / 13
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	ISO 9001 IATF16949 に基づいた自社品質マニュアルに沿ったマネジメントシステムにより目標管理を行っている	8 / 9 / 17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	社員･役員行動規範　コンプライアンス基本方針での周知と社員全員へのクレドカードの配布	16
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】経営企画室が担当し専門部署の整備を行う	16
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	各担当部門のステークホルダーとの対話内容など情報を開示し、経営者･経営層の意思に基づき迅速に対応している	16 17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	IATF16949の中にリスクマネジメントに関わる要項があり、BCPなどを含め対応してる。	16
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	ステークホルダーとの関係維持継続のためにCSRに重要性を理解する勉強会の実施	16
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	顧客別/取引先別のBCPを作成し、更新している。	9 / 11 / 13 13.1 / 16
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	次期後継者の育成を行っている(中小企業大学校　経営後継者研修　2016.10.3～2017.7.20卒業)	8 / 9 / 17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）